

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

コウナゴは体長 23-24mm が最も多く、漁獲適正サイズが主体

ー西島牧沖の漁期前調査結果ー

中央水産試験場資源管理部

後志地区水産技術普及指導所岩内支所

調査の概要

平成31年4月18日の夜7～8時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を行いました。植車沖から江ノ島沖の4つの調査点で、集魚灯に集まったコウナゴをたも網で採集しました。時化のため栄浜から西の調査点では調査が行えませんでした。

なお、この調査は第八喜久丸の中山雄一さん、島牧漁協および島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた方々にお礼申し上げます。

全調査点でコウナゴを採集

調査点の表面水温は10.1～10.5℃（平均10.3℃）で、昨年（2018年）（平均7.9℃）よりも高く、過去5年で最も高くなりました。調査は時化の中で行われましたが、コウナゴは4調査点全点で順調に採集されました。

主な体長は23-24mm、14mm以下も確認

採集したコウナゴの大きさを測定した結果が下図です。体長は10～29mmで、24mmが最も多く、漁獲適正サイズの22mm以上個体の割合は約6割を占めていました。体長14mm以下の小型群もわずかですが採集されました。既に大型群を対象にした操業は可能と考えられます。後続群の状況を見るために、初漁の漁獲サイズの状況を注視していく必要があります。

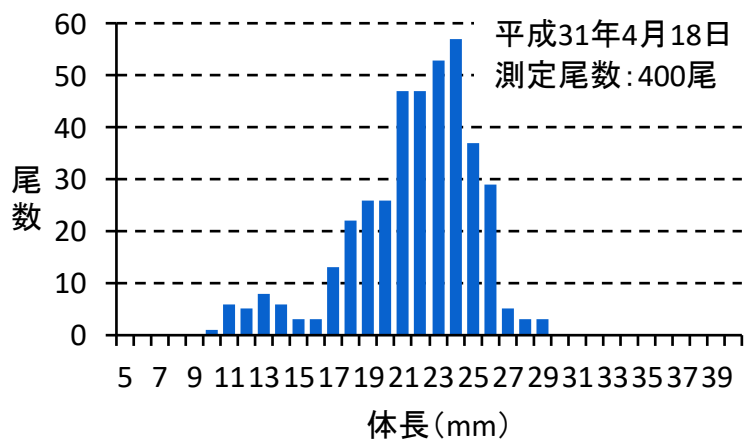


図 コウナゴの大きさ

第2報は、初漁期の漁獲物標本の測定結果についてお知らせする予定です。

お問い合わせ

中央水試資源管理部0135-23-8707

水産指導所岩内支所0135-62-0087